

# トーク & ライブパフォーマンス THORNITURE by FAMEME



2025年8月29日(金)  
18:00～20:00 (開場17:30)

「日常のコレオ」展出展作家で台北拠点のFAMEMEによるトーク & ライブパフォーマンスを開催します。

今回の日本で3名のラッパーとコラボレーションした新作《THORNITURE》のアートディレクションを担当した河野未彩とプロデューサーの三上真理子、そしてFAMEMEによるクロストークや、楽曲を提供したMoment Joon、なみちえ、DANNY JIN、3名のラッパーによるライブで夜の美術館を盛り上げます。

## プログラムスケジュール

17:30 DOOR OPEN (DJ TIME)

18:00～18:45 クロストーク：FAMEME × 河野未彩 × 三上真理子

19:00～20:00 ライブパフォーマンス：DANNY JIN、なみちえ、Moment Joon

会場：東京都現代美術館 B2F 講堂

参加費：無料

定員：150名 (申込不要 / 先着順)

逐次通訳 (日本語 - 台湾華語) あり

# 檜皮一彦 パフォーマンス 《MOTにおける車いすの コレオグラフィーを実験する。》



2025年8月30日(土)、31日(日)  
各日 13:00～17:00

檜皮一彦は自身も移動に使用する車椅子を用いた彫刻、映像作品、インスタレーション、パフォーマンスなどを通して、人々の中にある固定観念や権力勾配を露呈させる。また、近年の実践として道路や文化施設といったパブリックな空間や制度への介入を行い、その構造自体や潜在的に組み込まれている不均衡を問い直す「walkingpractice」プロジェクトがある。本展では、一般参加者とアーティスト自身がともに美術館内の展示室やパブリックスペースにおける車椅子の動線を実際に検証し、その過程をパフォーマンスとして提示する。パフォーマンス内の車椅子の振る舞いによって明らかになるのは、美術館の設備や建築構造に暗黙のうちに組み込まれた前提——つまり、複数の車椅子ユーザーが想定されていない動線や設備の不足、ひいてはあらゆる公共空間における、人々（それは歩行者や車椅子ユーザーかどうかにかかわらず）が歩く上で内面化してしまっている規範——である。このような檜皮の実践は、車椅子という装置を単なる補助具ではなく、空間や他者との関係を再編成する身体的メディアとして位置づけ、公共性を根本から問い直す。

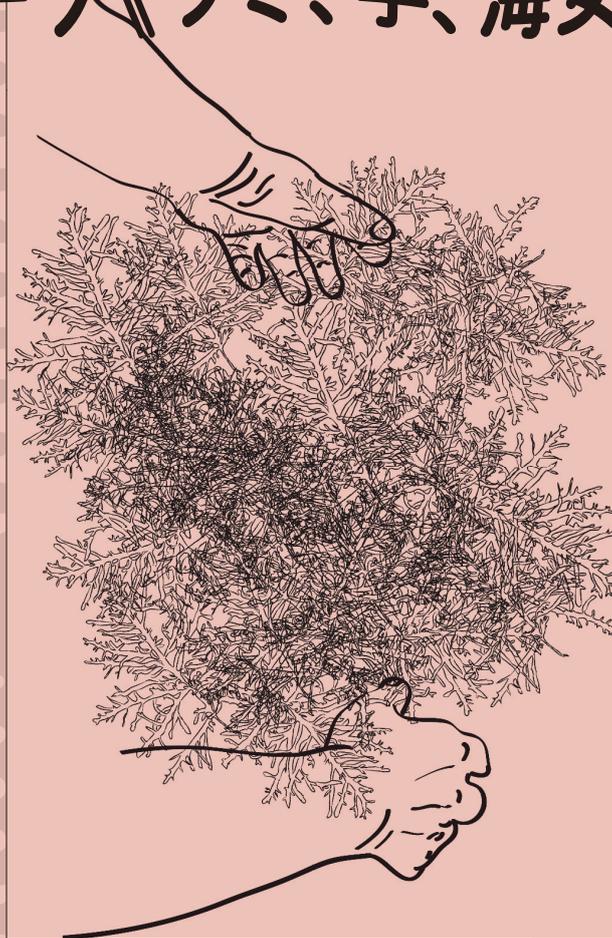
会場：館内パブリックスペース、「日常のコレオ」展示室

参加費：無料（要当日有効の本展チケット。またはMOTパスポート、身体障害者手帳等のご提示）

定員：各回35名（Webフォームで要事前申込／先着順）

集合場所：東京都現代美術館B2F 研修室2

# ライス・ブリューイング・シスターズ・クラブ トーク《ウミ、手、海女たち》



2025年9月7日(日) 15:00-17:00

本イベントでは、ライス・ブリューイング・シスターズ・クラブがこれまでの調査と制作で扱ってきた紅藻類であるテングサ(ウム)と、それを採取する海女たちの文化と移動の歴史に注目します。人類学研究者の齋藤典子とともに、日本の海女(アマ)と済州の海女(ヘニョ)たちの労働文化をつなげ、「移動」「分配」「共生」を主なテーマにトークを展開します。後半では「海女の手」という感覚を軸に、オゴノリに直接触れるワークショップが行われます。

集合場所 東京都現代美術館 B2F 講堂

参加費 無料

(要当日有効の本展チケット。またはMOTパスポート、身体障害者手帳等のご提示)

定員 100名(申込不要/先着順)

逐次通訳(日本語-韓国語)あり

# カレル・ファン・ラーレ パフォーマンス 《Contact》



2025年9月13日(土)、14日(日)、15日(月・祝)  
各日 15:00～15:15、16:00～16:15

カレル・ファン・ラーレは、パフォーマンスと映像を融合させた作品を通じて、身体とテクノロジーの関係を探求する。機械や他者の力を借りることで、自身の感覚や身体性がどのように変化するのかを主なテーマとしている。リサーチや観客との対話を積極的に制作プロセスに取り入れながら、実験的な発想を空間的、身体的な表現に具現化していく。

《Contact》は、公共空間における身体的接触の瞬間に潜む無意識の習慣や感覚に焦点をあてた参加型パフォーマンスである。本作は、アーティスト自身が日常の中で生まれるささやかな触れ合いを記録した「接触の日記」を起点に構想された。観客は円形に配置された椅子に座り、中央に設置されたカメラが彼ら／彼女らの手元を順に映し出す。その映像は会場内の複数のモニターに同時に投影され、観客は自らの身体が突然他者の視線に晒される感覚を体験する。さらに、映し出される場面を即興的に描写するナレーション音声を重ね、観客の視点や感情の動きに介入し、「接触」という経験の構造そのものを組み替えていく。本展では、日本で新たに迎えるコラボレーターがナレーションを担い、日本の固有の文化的文脈を織り込みながら、観客自身がその体験に触れる場をつくりだす。

会場：東京都現代美術館 B2F 講堂

参加費：無料(要当日有効の本展チケット。またはMOTパスポート、身体障害者手帳等のご提示)

定員：各回20名(Webフォームで要事前申込/先着順)